

環境まちづくりをめざす

# あじえんだ

冬

2001

第6号

2001年1月31日発行

京 みやこ  
の  
アジェンダ21  
フォーラム  
ニュースレター

「アジェンダ21」とは「21世紀への課題」という意味。  
「京のアジェンダ21フォーラム」では、市民・事業者・行政が力を合わせて  
環境と共生できるまちの姿を描いていきます。



アジェンダを語る

## 京都が目指す循環型社会とは

——エコロジカルで楽しいまちをつくりましょう——

～21世紀を迎えて、内藤代表が語る循環型社会へ向けての京都での可能性～

アジェンダ見聞録

オランダ ハーグ市

地球温暖化防止ハーグ会議・COP6 青少年会議に参加して

あじえんだNOW

各ワーキンググループからの報告

「環境フォーラムきょうと」の報告（12/2（土）アバンティホールにて）

アジェンダフォーラム会員紹介 ひと・まち・きたる

畑野 裕亮 さん

未来に残したい…  
京の知恵

障子

ガラスより保温力が

あることもさることながら、

障子は「心」までを

暖めることの出来る

木と紙と土の暮らしの代表として、

むしろ21世紀的と思えるのです。

写真 山口洋典

協力 田原邸（上京区）

\*詳しくは5ページをご覧ください



# 京都が目指す 循環型社会とは

——エコロジカルで楽しいまちをつくりましょう——

## 内藤 正明さん

京都大学大学院工学研究科教授、専門は環境地球工学。京のアジェンダ21フォーラム代表。環境評価指標、環境共生型里地づくり、エコ技術、などの研究、著作も多い。



## アジェンダを語る MIYAKO no Agenda21

<sup>みやこ</sup>京のアジェンダ21フォーラムが設立から3年目を迎えました。21世紀を迎えるにあたって、循環型社会に向けて京都での可能性について内藤正明代表に語っていただきました。

——政府も本気で循環型社会に向けて取り組み始めたかに見えます。循環型社会を目指すようになったのはなぜですか？

目先ではっきりしていることは、もうごみを捨てる場所がないことです。一般廃棄物で10年余り、産業廃棄物で5から10年、地域によっては2～3年とにっちもさっちも行かない状態です。ダイオキシンなど有害物質の問題もあります。ただ、大量生産・大量消費の社会全体の仕組みを問わずに、大量廃棄のところがいきづまってきたからリサイクルをして元に戻そうという発想にとどまっている感があります。これは理屈の上ではどう考えても不可能で、どんどん口から放り込んでトイレに行くなということと同じです。原点に戻って大量生産・大量消費の社会のあり方をどうするかを考える必要があります。現状のままで、循環システムを組んでも、物質不減の法則に反することをするので、うまくいくはずがありません。

——内藤代表がお考えになる循環型社会とはどのようなものですか？

狭い意味での循環はモノを回すことです。外国から大量にモノを入れて循環がパンクするなら、当然ながら入ってくるモノを減らさないといいけません。それでは今の経済が回っていかないというなら、何か工夫がいるでしょう。それは難しい議論になりますが、私は省略して言えば、

必ずしもお金でモノを大量に交換することから、かなりの部分脱却すること、といわざるを得ないです。たとえばエコマネーのような世界ですね。現に日本で成り立っている循環は、そのような経済原理からあるていど離れたものです。また、本来人間が持っていたモノを生産し、労働する喜びとセットになった循環型社会を考えなくては、成り立つのが当面難しいです。エコマネーには心の循環とモノの循環とお金との兌換性と3段階があって、どのあたりを目指すのかを慎重に見きわめることです。

循環型社会は手段であるにもかかわらず目的化してしまい、あるべき方向からどんどんずれています。みんな理念を共有し、大きな目標やビジョンを作らないと、魂が何か分からずに仏を作っていることになりかねません。情報提供や教育によって、新しい豊かさの社会を作ったら、結果として循環型の社会になるというビジョンを描いて、それを共有することが必要ですね。

——将来のビジョンを示していくことが京のアジェンダ21フォーラムの果たす役割でしょうか？

京のアジェンダ21では当初に目指すべき方向として5つのシナリオを想定しました。しかし目標が壮大すぎて、いまだ息切れしかけているのではないのでしょうか。もう一度、改めて小さいことを一つ一つを積み上げていくことの大切さを実感しています。



私たちが家庭や町内でいますぐで  
きることをやるのが次につながっ  
て、最後には京都全体が変わるとい  
う、みんなが認識できるプログラム  
を作りたいですね。12月に発表さ  
れた京都市の環境基本計画でも、全  
ての行政施策は環境に配慮すること  
が基本であると明記され、京のアジ  
ェンダ21の5つのシナリオはそのま  
ま項目に盛り込まれました。市民、  
行政、企業がパートナーシップ活動  
を積み重ねてきた成果であり、京の  
アジェンダ21フォーラムが果たし  
た意義は大きいと思いますが、むし  
ろこれからは目に見える成果がもと  
められるでしょう。

——京都市は2010年までに1990年  
レベルより二酸化炭素排出量の  
10%削減を目指していますが、現  
状だと達成は難しいですね？

昨年11月のCOP6\*は合意を見な  
いで終わりました。このままだと日本  
は京都議定書に定められた90年レ  
ベルで二酸化炭素排出量の6%削減  
も困難でしょう。本来、6%削減はも  
っと大きなターゲットに向けた第一  
ステップであり、最終目標ではない  
のです。次は10%と更なる削減の  
シナリオへと向かわないといけなく  
なるでしょう。脱石油を視野に入れ  
ながら、原子力のような袋小路の技  
術に固執していないで、本気で方向  
転換に向けて、国が宣言すれば国民  
の多くは喜んで行動し、新しい経済  
活性も見えてくると思うのですがね。

——京都は1200年も持続してきた  
町です。この知恵を生かすことが大  
事ではないですか？

今、全国的に里地・里山がエコロ  
ジカルな社会づくりによって再生し  
ようという取り組みが各地で見られ  
ますが、都会地に殆どそのような例  
がないのです。京都が1200年続い

たのは、うまく自然と調和した循環  
や共生のメカニズムを作ってきたか  
らでしょう。そうした知恵をいかし、  
新しい他の先進的な事例もみんなで  
勉強しながら、近代都市京都ででき  
る、環境共生社会の可能性を探って  
いきたいですね。そのためには、まず  
適正な規模の自立・自律型の循環コ  
ミュニティのような社会実験ができ  
ませんか。そしてこんな街だった  
ら誰もが住みたいというモデルを作  
りましょうよ。ごく一角でも京都が  
変われば全国から人が来ます。宝物  
は足元にいっぱい眠っていますよ。

——京のアジェンダ21の5つのシ  
ナリオにエコロジー型新産業シス  
テムの構築がありますが、どのような  
のですか？

ゼロエミッションや省エネやISO  
の取得なども必要でしょう。ただ、  
京都は伝統的に工芸的生産で高付加  
価値の商品を作っています。モノの  
使いごこちとか使うことの喜びとい  
う価値も格段に高くあります。京都  
のビジネスは、CO<sub>2</sub>の発生が低く高  
付加価値の商品を作ってきました。  
高品質長寿命は地球にやさしい商品  
ですから。そうした伝統に加えて、  
さらに空いた工房や町家を活用し  
て、たとえば修理工房を作ってみて  
はどうですか、再利用は循環の前段  
としてもっと重要ですから。美術品  
や日用工芸品も京都では修理でき  
るとなれば、観光をかねて全国から  
も人と人が来るようになりますか。

——都市と農村が一体化することや  
近郊農業の可能性を追求したいですね？

私が循環型社会の絵を書くと、い  
つも都会地と近郊の農地が循環して  
いる絵になるんです。その詳しい理  
由は置くとして、京都は三山に囲ま  
れ、時間的にも距離的にも中心部か  
らすぐに農山村に行ける。今の社会

では、野菜は畑から、家は木から、  
水は天からというような循環の輪が  
見えにくくなっていますが、このし  
くみを取り戻すしかけづくりを京の  
アジェンダ21フォーラムが引き受け  
てもいいですね。フォーラムで土地を  
借りてアジェンダファーム、アジェン  
ダ牧場とかのパイロット事業はいかがで  
しょう。なんなら梅屋小学校の校庭  
も借りて。また学校やスーパーや  
市民にも声をかけていきたいですね。

——子どもたちも参加できるといい  
ですね。

土作りからみんなで循環の学習をし  
ながら、子どもたちも一緒に学び遊  
べるものもいいですね。京のアジェン  
ダ21フォーラムが学校と有機農家の方  
をつなげたり、プログラムを作ったり  
という働きかけがあってもおもしろい  
ですね。子どもに農業や循環型社会の  
良さがわかれば、将来の顧客になりま  
す。学校や地域からアイディアを募集  
して、ネットワークを作っているとい  
うと発信していきませんか？

——最後に読者の皆さまに向けてメ  
ッセージをお願いします。

20世紀型の社会を大きく変える  
には覚悟もいり、痛みも伴います。  
しかし痛みの向こうに、心のつなが  
りや非物質的な価値という、これまで  
軽んじられてきた新しい豊かさがあり  
ます。これをみんなで追求したら、自然  
に循環型社会に一歩ずつ近づいてい  
きます。肩ひじはらずとも、みんな  
で仲良くおもしろくやることも大事  
です。それができる仲間と場が京のア  
ジェンダ21フォーラムにありますよ。

\*1 気候変動枠組み条約第6回締約国会議の略  
2000年11月13日から25日までオランダ  
のハーグで開催された。

インタビュー・文責：  
ニュースレター編集チーム



## オランダ ハーグ市

# 地球温暖化防止ハーグ会議・COP6 青少年会議に参加して



オランダ  
●ハーグ

2000年11月、オランダのハーグ市で開かれた国連気候変動枠組条約第6回締約国会議（COP6）と並行して、オランダ政府が青少年会議（11月16日～20日）を開催しました。

会議は、各国の代表による自国の地球温暖化の現況や取組紹介から始まり、青少年とすることができること、行動しなければならないこと等をテーマに熱心な議論が交わされました。3年前に開催された地球温暖化防止京都会議・COP3の開催地である京都から、日本代表として2人の高校生が参加したので、会議の様子などのレポートをお届けします。



青少年会議に行って、まずびっくりしたのは60か国から集まった150人以上の人たちが、たった一日でうち解けあえたことです。みんな普段はおもしろい話をして笑っていましたが、環境の会議になると雰囲気さがらりと変わり、熱い発言がいっぱい出てきました。

参加者はそれぞれ自分の国で何らかの環境に関する活動に参加しているそうです。私の周りの高校生でそういう活動をしている人はいないので、日本の若者の意識は低いのだなと思いました。

とても真剣な会議でした。インターネットを使った情報収集やエキスパートの人達へのインタビューなどを入れながら、テーマ別にグループで新聞記事を書きました。その新聞は、COP6の会議場内で配られました。小グループに分かれてエネルギー、水、自然保護、意識の普及などについて、それぞれ何をすべきか討論しました。討議では、開発途上国の人達から生の声を聞くことができました。「良い」「悪い」「あっている」「まちがっている」ということを議論するのではなく、「私達に何ができるのか」というポジティブな議論をしたので、お互いにアイデアを出し合い、良いプランを作ることができました。

でも、不思議なことに60か国もの文化、言語、思いの違う国からみんな来ているというのに、お互いに考えることは驚くほど共通していて、私達の間に国境はないと感じました。

最初に驚いたのは、みんなの環境に対する意識がすごく高かったことと、自分の考えを主張する力も強かったことです。会議中は、真剣で雰囲気が日本の高校生とは違うと思いました。パソコンを使って本物の新聞作成をしたり、テーマに分かれて討論したり、話し合った結果をホームページに載せるなど、様々なことをしました。しかし、語学力やパソコンの知識が準備不足で、なかなか思うようにうまく自分の主張ができず、残念でした。でも、今後の課題や私に必要なものが何かということがわかったので、いろいろ学ぶことができたと思います。

一番有意義に思えたのは、討論の時間でした。発展途上の国に住む人たちの、環境破壊の原因を引き起こした先進国の責任を追求するのではなく、一緒に問題解決に取り組んでいこうという前向きな姿勢に感心しました。お互いの国の利益や損得を考えずに話ができたことは青少年会議のすばらしいところだったと思います。気候変動によって起こる様々な問題を、とても身近な存在として感じるようになり、私も何か活動を起こそうと刺激を受けました。

日本の高校生の環境に対する関心はまだ低いようです。それは、私たちが実感できていないからだと思います。だから学校や地域を中心にいろいろな取組をすることで、環境問題がもっと身近に感じてもらえたらいいと思います。そしてまた、今回の青少年会議がより多くの人々を巻き込んで、次につながってほしいと思います。

（京都市立日吉ヶ丘高等学校 2年 辻 香織）

（京都府立南陽高等学校 2年 森口 真紀）



**Q** 電気ストーブ、ガスストーブ、石油ストーブ、ヒーターなど、暖房器具にもいろいろありますが、このなかで一番二酸化炭素発生量が少ないのはどれですか？また、多いのはどれですか？

**A** エネルギー源別にみると、都市ガスがいちばん熱量あたりの二酸化炭素排出量が少なく、灯油、電気の順で多くなります。つまりストーブで同じだけ部屋を暖めるとしたら、二酸化炭素の排出量は、ガスストーブ<石油ストーブ<電気ストーブ（オイルヒーターも同じ）となります。

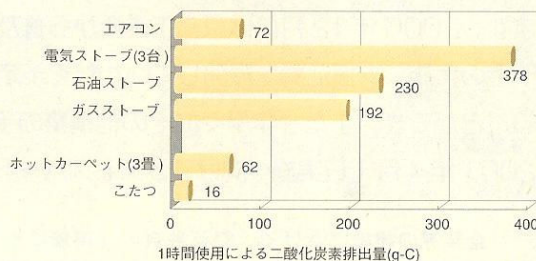
ただし同じ電気を使用する器具でも、エアコンはエネルギーを直接熱に変えるのではなく、屋外の熱を部屋に運び込むことに使うだけなので、はるかに二酸化炭素排出量は少なくなります。

また、温度調節のできない石油・ガスストーブの場合には、暖め過ぎに注意してください。暖まった空気は上の方にたまり、下の方は寒くても天井付近は真夏並みの30度近くに達していることも少なくありません。このようなときは

上の方の空気をうちわでかき混ぜるだけでも暖かくなります。

ちなみに暖房器具として一番二酸化炭素排出量が少ないのはこたつで、同じ時間使っても石油ストーブの14分の1しか二酸化炭素を出しません。一つのこたつに家族全員がそろうことで、体だけでなく心の面でも十分暖かくなるといえます。日本が世界に誇るエコライフ機器と言えるでしょう。

（鈴木 靖文@有限会社ひのでやエコライフ研究所）



## 未来に残したい... 京の知恵

### 其の六、障子

最近めっきり姿を消してしまった障子。京町家の座敷や旅先の宿などで久しぶりに、あの優しい包容力の気配に浸ると、「こういう暮らしもあったな」などとしみじみ感慨にふける。誰しもが癒されたあの母親のような不思議空間。

だとしたら、なぜ消えていったのか。友人が今様の部屋の窓を無理矢理障子にして「どうです！」とばかりに自慢していたが、なにかアメリカ西部の町に突如京風割烹が出現したような、エキゾチックなインキ臭さが漂っていた。もはや今日我々のマンションやツリーバイフォーには本物の障子は似合わないのだ。

終戦後アメリカ人に「木と紙と土の日本人の家。なんという貧しさ！」といわれて大いに傷つき、以来50年ひたすら木紙土を捨て、家具道具の豊かさに乗りかえて今になりました。ただこの頃、妙にその「木と紙と土」に惹かれませんか？

モノだらけのおかげで部屋は狭くなり、掃除は厄介で、アトピーも治らない。かつての住まいは果たして今のより貧しかったのだろうか。ガラスより保温力があることもさることながら、障子は「心」までを暖めることの出来る木と紙と土の暮らしの代表として、むしろ21世紀的と思えるのです。

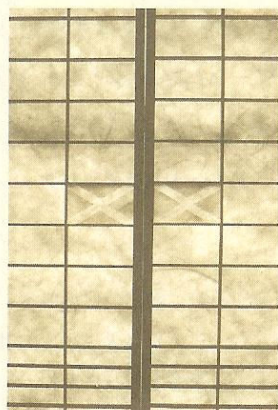
恩地惇

（会員、環境デザイナー・

GK京都取締役社長）

写真 山口洋典

協力 上京区 田原邸





## ライフスタイル ワーキンググループ

ライフスタイルワーキンググループの運営メンバーは現在 11 名。市民団体、地域女性会等、さまざまな立場の方が関わっています。昨年末には、お互いがどのような活動をしているかについて情報を共有し、そのうえで今後の協働による取組について話し合う機会を設けました。

今後、ライフスタイルワーキンググループでは、すでに各地域で何らかの取組をされている商店街や個人、グループとの協働、エコライフ認証制度の検討を進めながら、京都において環境にやさしいライフスタイルを実践しやすくするための仕組みを考えていきます。

20 世紀では果たせなかった新しいライフスタイルを考え、実現する場として京のアジェンダ 21 フォーラムで共に語り、行動しましょう。  
(コーディネーター 袖岡 信明)

## 企業活動 ワーキンググループ

KES 認証準備グループでは、現在 KES の試行企業のコンサルを推進しています。7 社の試行企業の殆どが具体的活動の取組みを開始され、認証準備グループもコンサルの進め方、規格の補強等に有益な経験をしています。2000 年 12 月には京都工業会から普及支援のプレス発表があり、商工会議所・経営者協会等も順次説明会の実施、支援活動を展開していただく予定です。なお、予定通り平成 12 年中に正式な「規格」をまとめることができ、また今年早々にその他構築の手引き等も整理し、認証マークの公募、審査員の公募等を行い、2001 年 4 月 1 日実施に向けてラストスパートをかける予定です。  
(コーディネーター 津村 昭夫)

### ※京都・環境マネジメントシステム・スタンダード (KES) とは

企業等の組織における、京都独自の「環境にやさしい」基準として考えられた。KES に継続して取り組むことが ISO14001 の認証取得へもつながる等、京都の環境にやさしい企業を応援するための仕組みづくりを目指す。現在、KES 認証準備グループがボランティアベースで立ち上げられている。

(KES に関する資料をご希望の方は「京のアジェンダ 21 フォーラム事務局 (8 ページ参照)」までお問い合わせください)

## エコツーリズム ワーキンググループ

エコツーリズム都市作り・ワーキンググループは、(1)京都の観光施設の「エコ化」を働きかけるチーム、(2)エコツアーに親近性のある実践グループの実践交流とネットワーク形成を検討するチームを立ち上げて動いています。同時に、ほぼ毎月「入門的なセミナー」を開いて新たな参画メンバーを募るとともに、エコツーリズムの考え方の共通理解を深めています。  
(コーディネーター 水野 篤夫)

## 交通 ワーキンググループ

交通ワーキンググループでは、新しいメンバーも多数加わり都心のエコ交通プラン策定作業が以下の 4 つのタスクに分かれて順調に進んでいます。それぞれのテーマで課題の抽出と、その策を具体化する議論が 6 月の中間報告に向けて白熱し始めました。まだ確定ではありませんが議論されている内容を少しご紹介します。

### ○自転車タスク

都心幹線路の自転車走行制限と細街路の通行条件整備、都心の駐輪容量拡大の可能性、都心を拠点に郊外への共有自転車共用システム、都心の自転車利用者の意識と需要予測、自転車と共存できる都心を市民に意識啓発

### ○公共交通タスク

現行の 100 円循環バスの発展形態としての都心循環バスないしは LRT に、すべての都心へのバス LRT が一元的にシームレス接続、都心の交通ターミナル及び交通情報の提供機能強化、公共交通利用買い物客への経済的誘導策、都心へのロードプライシングを財源とした都心エコ交通インフラの整備

### ○物流タスク

商業者の実態把握のためのヒアリング調査の実施、事業者同士の連携システム

### ○総合タスク

河原町及び四条通のトランジットモール道路設計の複数案の提示、都心交通政策を合意オーソライズする土俵づくり、大手流通事業者の交通対策の現状ヒアリング及び事業者との連携の可能性の模索

(コーディネーター 能村 聡)



## エコミュージアム ワーキンググループ

エコミュージアムWGは昨年10月の例会で、1995年から住民と行政とが連携して活動している山背古道推進協議会主催の「探検祭り」に参加し、城陽市・井手町・山城町・木津町を通る山背古道の一部を散策しました。11月は、1999年に開園した「兵庫県立コウノトリの郷公園」の取組を聞くことで、希少野生生物の絶滅の背景と里山という生産・生活の場が危機的な状況との相関関係を再確認しました。

エコミュージアムWGは、2000年3月に例会を立ち上げ、表のように各地の実践報告をうかがったり、現地で見学会を開催するなど、エコミュージアムについての理解を深める機会をつくってきました。

実際に取組を見学することができた平野、芦生、山背古道で感じたことは、千古の都のあった京都を文化的な中心とする、豊かな人々の痕跡であり記憶でした。平野には、したたかさを有しつつ内面豊かな道楽を嗜んでいる「旦那」のような人々があり、京都の町衆に通じることを感じました。芦生では、京都という伝統工業の生産拠点・流通拠点が近くにあるために、稲作が営めない山奥の原生林の中でも明治末期まで数十軒の木地師集団が住んでいた山里の環境があった事実など、京都との関係が深かった事実を思い知らされました。山背古道は、平城京を中心とする道路網を由来とはしていますが、当然、奈良と京都とを結ぶ道でした。椿井大塚山古墳から木津川を見下ろす眺めや、沈みゆく夕日を映す木津川右岸の田園風景は、今も山城盆地で唯一残されている懐かしい情景です。



今後は、これまで見聞きしてきた事例をもとに、京都の文化圏の記憶と絡めながら、交流のあり方を探りつつ、エコミュージアム例会のレポートをまとめようと考えています。そして2001年度は、京都でのエコミュージアムの展開の可能性を探るとともに、デジタル・エコミュージアムのあり方について、検討していく予定です。

|               | 内容                                                                                                | 講師または見学地                           |
|---------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------|
| 3月<br>(実践報告)  | 「エコミュージアムの概念と実態——海外の事例と明日香村での実践——」<br>奈良県明日香村での農林業を通じた都市民と地元の人々との交流                               | 吉兼 秀夫氏<br>(阪南大学教授 観光学専攻)           |
| 5月<br>(実践報告)  | 「テクノボーたちによる「ほんとうの幸い」の創造——イーハトーブ・エコミュージアム構想による挑戦——」<br>宮沢賢治の理念を生かした「イーハトーブ・エコミュージアム」を展開する岩手県東和町の紹介 | 今橋 克寿氏<br>(東和町・山・川総合研究所 理事)        |
| 6月<br>(実践報告)  | 「水俣市内の里山での取組」<br>熊本県水俣市の愛林館で行われている農林業体験交流                                                         | 沢畑 亨氏 (水俣市久木野ふるさとセンター 愛林館館長)       |
| 7月<br>(見学会)   | 「西陣における町家倶楽部の活動」<br>町家に新しく住み込んだモノづくりを営む人々の活動                                                      | 小針 剛氏 (町家倶楽部ネットワーク)                |
| 9月<br>(見学会)   | 「平野町ぐるみ博物館」<br>幽霊博物館や手作り鏡実演館など45のミニ博物館めぐり                                                         | 大阪市 平野区                            |
| 10月<br>(見学会)  | 美山町芦生の原生林探訪                                                                                       | 京都府 美山町                            |
| 11月<br>(実践報告) | 山背古道の散策と「探検祭り」への参加                                                                                | 京都府 山城町                            |
| 11月<br>(実践報告) | 「希少野生動物の保護と兵庫県コウノトリの郷公園の実践」<br>コウノトリの野生復帰を基軸にした地球環境の保全の実践的な研究成果                                   | 池田 啓氏 (姫路工業大学教授、兵庫県立コウノトリの郷公園研究部長) |

※イーハトーブ・エコミュージアム：「イーハトーブ」とは宮沢賢治が岩手県をエスぺラント語風に表現した造語で、田園理想郷という意味でとらえられている。

(コーディネーター 笹谷 康之)

## 「環境フォーラムきょうと」へのご参加ありがとうございました！

12月2日に産業廃棄物問題と温暖化防止の取組を考えてもらう企画として「環境フォーラムきょうと」をアバンティホールにおいて開催し、約380名の方々にご参加いただきました。

第1部では、温暖化防止等の活動に功績を残された下記の4団体が市長から表彰され、当フォーラムから賞品として自転車を贈りました。また各ワーキンググループの活動をOHPなどで紹介し、フォーラムへの参加を訴えました。第2部では、産廃問題を巡る業者と住民との葛藤を描いた劇「青空のピコ」を上演、環境やごみ問題に関心を持ってもらうためのきっかけづくりを目指しました。



### 表彰された方々

ふるしき研究会・京都府生活学校連絡協議会・京都生活協同組合・竹之内運送株式会社



ひと  
まち  
きたる

有限会社ウェイズ 取締役

畑野 裕亮 さん

待ち人来る、ではなく「ひと・まち・きたる」。  
京のアジェンダ21フォーラムの会員で、積極的に活動  
されている方を紹介していきます。



(撮影 宮田晃一郎)

http://www.ways.co.jp/

兵庫県明石市出身。1998年度立命館大学卒。1998年2月、学生ベンチャーとして有限会社ウェイズを設立。「社会にやさしいおしゃれな暮らし」を提案するオンラインショップ「WAYS SHOP」の運営や、Webの企画・制作などを行っています。

#### ——ウェイズとはどんな会社なのですか？

モノを売ること「社会にやさしいおしゃれな暮らし」を提案していくことを目的にたちあげたのがウェイズという会社です。オンラインショップを展開し、環境に配慮しつつもおしゃれなものやカッコイイと思えるものを商品として扱っています。一方で、環境や医療・介護福祉などのテーマを中心にWeb制作（ホームページの企画・作成）・DTP（印刷物デザイン）、企画の提案なども仕事としてやっています。基本的に企画の提案をすることで会社全体の底上げをして、その中で自分達にできるWeb制作・DTP、物販などを請け負うという形の仕事をしています。従来のようにタテ型の仕事ではなく、テーマに沿ったヨコ型のビジネススタイルですね。

#### ——実際に現在請け負っていることを具体例で挙げていただけますか？

例えばホームヘルパー向けの業務管理システム開発に関する企画調査や、インパク（インターネット博覧会）の介護パビリオン用のコンテンツ制作、エコロジー関連のWeb制作などを行っています。

#### ——学生ベンチャーで設立ということですが、会社を起そうと思ったきっかけは？

大学2年のとき（96年）にマレーシアに行ったんです。自然の力で極度に細分化された空間、多様な生態系で完成された空間を体験したという気持ちでした。生態系の循環の中にいるという感じで、そこで森と共に生きている人が全員カッコよく見えた。すごくうらやましかった。そのときに環境を守ることを仕事にしたい、と熱い気持ちで真剣に思いました。

それから、熱帯雨林を守るためのビジネスを共同経営者の竹田と2人で考えました。

#### ——当時はフェアトレードという言葉もあまり定着していなかった頃ですね。

96年はITTO（国際熱帯木材機関）の国際会議があったり、貿易や経済に環境のことを組み込むというのが明確化しはじめた年でもあり、すごく勉強しました。そのうちに、ひとりの和尚さんに出会ったのです。その人はインドネシアの原生林を切らずに植林や廃材を使い、障害を持つ人や農村の女性を優先して雇い、スプーンを造るということをやっていました。いわゆるフェアトレード的な考えに基づいた商品で、それがウェイズの最初の商品となりました。

#### ——どうやって売っていったんですか？

全然わからなくていろいろ考えました。フリママーケットに参加しようかとも思った。結局、自転車で京都市内の小売店をひとつずつ廻りました。そのときに何店か考え方に賛同してくれたお店が扱ってくれて、卸販売がスタートしました。

それから、自社のオンラインショップを制作しました。それでやっと現在のスタイルになってきたんです。今は、気軽に見てくれるお客さんとディープなお客さんと両方ついてきていて、そのお客さん達にコンテンツを提供しています。やっとイメージしていたエコロジーショップの形になってきました。

#### ——京のアジェンダ21とどう関わっていきたいと思われますか？

京のアジェンダ21は、人や企業を環境にも適合するよう育てていくものだと思います。例えば新しい交通システムを入れるにしても、それをうまく利用していく人たちが育たなければ意味がない。京都の可能性は大きいと思います。そういう意味で、ウェイズもその中で育つ企業でありたいし、学生や市民を育てていく力になっていきたいと思っています。

#### ——どうもありがとうございました。

(聞き手／宮田晃一郎)

### 京のアジェンダ21フォーラム入会のご案内

#### 【年間会費】

一口1,000円を単位として、会員ごとに次の口数分とします。

(1)個人会員 1口 (2)団体会員 2口以上

\*会費は郵便振替または銀行振込をご利用ください。

◇郵便振替口座：00960-7-143508

京のアジェンダ21フォーラム

◇銀行振込口座：三和銀行京都支店 普通 5468383

京のアジェンダ21フォーラム

#### 【会員の特典】

ニュースレター・各種案内資料の無料送付、ワーキンググループへの参加、主催行事への参加など

みやこ

### 京のアジェンダ21フォーラムニュースレター 2001年冬(第6号)

発行：京のアジェンダ21フォーラム事務局

〒604-8571 京都市中京区寺町通御池上ル上本能寺前町488番地

京都市環境局環境企画部地球環境政策課内

TEL. 075-222-4037 FAX. 075-222-4039

E-mail. ma21f@mbox.kyoto-inet.or.jp

URL. http://web.kyoto-inet.or.jp/org/ma21f/

企画：同フォーラムニュースレター編集チーム

編集：佐藤桂子・竹花由紀子・千葉有紀子・松田直子・水口保・宮田晃一郎

デザイン・レイアウト：藤本芳一・山口洋典

※このニュースレターは古紙100%の再生紙に大豆油インクを使用しています。